

JIS

鉍石中の鉛定量方法

JIS M 8123 : 2006

(JMIA/JSA)

平成 18 年 7 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 非鉄金属技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	神尾 彰彦	東京工業大学名誉教授
(委員)	岩坂 光富	日本鋳業協会
	碓井 栄喜	社団法人軽金属学会 (株式会社神戸製鋼所)
	木股 隆三	株式会社ビスキャス
	小出 正登	日本伸銅協会 (三菱マテリアル株式会社)
	近藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	齋藤 鐵哉	独立行政法人物質・材料研究機構
	佐藤 正晴	株式会社神戸製鋼所
	下村 孝	社団法人日本鉄道車輛工業会
	中村 守	独立行政法人産業技術総合研究所
	西村 尚	東京都立大学名誉教授
	馬場 孝三	住友金属鉱山株式会社
	林 央	社団法人日本アルミニウム協会 (独立行政法人理化学研究所)
	矢萩 強志	財団法人日本船舶技術研究協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 27.3.8 改正：平成 18.7.20

官 報 公 示：平成 18.7.20

原 案 作 成 者：日本鋳業協会

(〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-21-8 秀和第 3 虎ノ門ビル TEL 03-3591-9842)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：非鉄金属技術専門委員会 (委員長 神尾 彰彦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第14条によって準用する第12条第1項の規定に基づき、日本鋳業協会 (JMIA) / 財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS M 8123 : 1999** は改正され、この規格に置き換えられる。

改正に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 11441 : 1995, Lead sulfide concentrates — Determination of lead content — Back titration of EDTA after precipitation of lead sulfate** 及び **ISO 13545 : 2000, Lead sulfide concentrates — Determination of lead content — EDTA titration method after acid digestion** を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任をもたない。

JIS M 8123 には、次に示す附属書がある。

附属書 1 (規定) 分析用試料の吸着水分の測定方法

附属書 2 (規定) 酸化するおそれがある分析用試料の吸着水分の測定方法

附属書 3 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表